

坂口恭平日記

Kyohei Sakaguchi: In My Life



熊本市現代美術館は、2023年2月11日から、展覧会「坂口恭平日記」を開催します。

熊本出身・在住の坂口恭平は、2004年、写真集『0円ハウス』（リトルモア）を発表し、その後もモバイルハウスの建設や独立国家を起ち上げるプロジェクトなどを実施。小説や自身の経験に基づくエッセイも数多く発表してきました。さらには、音楽、ドローイング、水彩、アクリル、編物、料理、陶芸、パステル、畑（農作）……など、その創造は留まることはありません。坂口は、生きることの全てが何かしらの創造へと繋がっており、それは私たちの日々の暮らしと変わりません。だからこそ、このような坂口の生き方、創造の在り方は、一人の人間の真摯な日々の営みとして、多くの人の心のどこかに常に響き続けているのではないのでしょうか。

「坂口恭平日記」では、坂口の思考と創造の営みを紹介することによって、私たち自身の生きる営みを見つめ直します。

会場構成

I パステル画

約 650 点のパステル画

坂口恭平は、2020年5月より毎日のようにパステル画を描き続けています。パステル画に描かれているのは彼が訪れた場所であり、彼がみた風景です。本展では、坂口恭平がこれまでに描いてきたパステル画、約860点のうち、約650点を展示します。



当館のウェブサイトでは、出品作品を含む全パステル画をオンライン・カタログ・レゾネとして公開しています。

坂口恭平パステル画 <https://www.camk.jp/art/sakaguchi/>

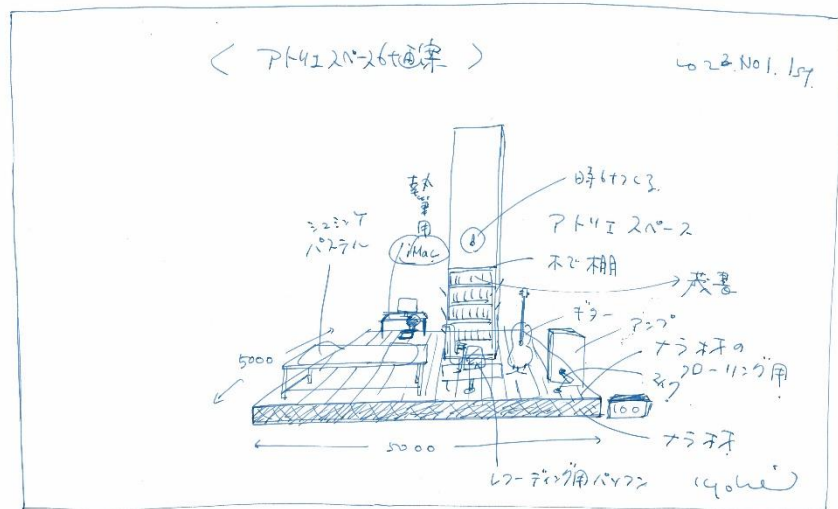
畑を終えたあと、僕には色をもっと鮮明に感じられた。微細な変化を、自分の体が、皮膚が、網膜が、耳が感じている。あ、僕はこれを描くんだ、とその時思った。
——坂口恭平「畑への道」『Pastel』（左右社、2020）pp. 131–136 より抜粋・編集

約 200 人の個人所蔵者たち

坂口はパステル画を描いたあと、それを撮影し Twitter に投稿し続けてきました。追いかけるようにして、多くの人が SNS 上で坂口の「今日のパステル画」を見続けてきました（12.4 万フォロワー）。その後、パステル画は、ギャラリーや坂口のオンライン販売サイト、Museum（坂口恭平美術館）で販売され、多くの個人が購入し、手にしています。このように、制作→SNS→展示→販売」といった展開は、坂口のパステル画の流通・受容の特徴の一つといえるでしょう。とりわけ「個人」が所有している点は、注目すべき点です。本展では、開催の1年前にあたる2022年2月11日から、パステル画所蔵者への出品協力の呼びかけを行いました。そして、約200人の個人の所蔵者からの協力を得て、一堂にパステル画がならびます。

II アトリエ

坂口は現在のアトリエを構える前、当館のキッズファクトリー（子供用アトリエ）を「アトリエ」と称して制作していました。パステル画も、日々美術館に通って様々な制作をするなかではじまりました。本展では、会場内に一時的な坂口のアトリエを設けます。服や椅子、ギターといった自分で作った物や道具、お気に入りの作品、読んできた本や画集などが並びます。ときには坂口恭平が何か制作しているかもしれません。



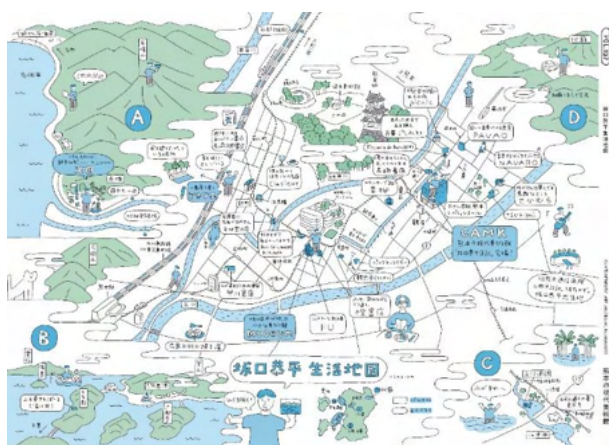
左：熊本市現代美術館内の旧アトリエ（キッズファクトリー）

右：現在のアトリエ

朝起きて、アトリエへ。何をやりたいか、タバコを吸いながら思い浮かべる。やりたいことをそのままやるのがいい。それは毎朝違うから面白い。

——坂口恭平 (@zhtsss)、Twitter、2022/05/08、06:14 より抜粋・編集

そのほか

坂口恭平 生活地図

当館発行のフリーペーパー『ART KISS LETTER』vol. 107では、米村知倫のイラストによる「坂口恭平 生活地図」を掲載しています。坂口の生活のベースとなっている、アトリエや畑、Museum（坂口恭平美術館）をはじめ、よく訪れている店やパステル画に描かれているエリアも紹介します。

2023年1月中旬より、熊本市内や全国の書店等を中心に各所で配布します。

関連イベント

詳細と最新情報については当館ホームページまたはSNSをご確認ください。

展覧会概要

タイトル：坂口恭平日記

会 期：2023年2月11日（土・祝） - 4月16日（日）

休 館 日：火曜日、3月22日（水）*ただし3月21日（火・祝）は開館

時 間：10：00～20：00（入場は19:30まで）

会 場：熊本市現代美術館 ギャラリーI・II

観 覧 料：一般 1,100（900）円、シニア〔65歳以上〕：900（700）円、
学生〔高校生以上〕600（500）円、中学生以下 無料

※各種障害者手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、
被爆者健康手帳等）をご提示の方と付き添いの方1名は無料

※()内は前売/20名以上の団体/電車・バス共通1日乗車券、市電緑のじゅう
たんサポーター証、熊本県立美術館友の会証、JAF会員証をご提示の方

会 場：熊本市現代美術館 ギャラリーI・II

主 催：熊本市現代美術館（熊本市、公益財団法人熊本市美術文化振興財団）、
熊本日日新聞社

助 成：一般財団法人地域創造、公益財団法人 DNP 文化振興財団、
日本財団



記者発表

2023年2月10日（金）13:30～

※一般公開 2月11日（土・祝）10:00～

開会に伴い、記者発表および会場内ツアーを行います。ご参加予定の方は事前にご一報ください。

タイムスケジュール

13:00 受付開始

13:30 記者発表、内覧会開始

- ・会場案内（担当学芸員によるツアー形式／約30分）
- ・個別取材・撮影タイム（約60分）

15:00 会場クローズ

注意事項

- * 作品保護のため、館内では**鉛筆**をご利用ください。お持ちでない方には貸出をいたします。（ボールペン・シャープペンシルのご使用はお控えください。インク、先のとがったものによる作品の破損を防ぐためです。ご理解・ご協力のほど、よろしく願いいたします）
- * 作品保護のため、お手回り品（リュック等）が壁や作品に触れないよう、ご注意をお願いいたします。（会場でご使用にならないお荷物はコインロッカーをご利用いただくか、お預かりも出来ますのでお声がけください）
- * 受付にてお名刺を1枚頂戴いたします。お持ちでない場合は芳名帳へのご記入をお願いします。
- * 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、美術館入口にて検温、手指の消毒にご協力をお願いしております。

■お問い合わせ

熊本市現代美術館

企画・担当：池澤茉莉 広報：手嶋彩香

〒860-0845 熊本市中央区上通町 2-3

TEL 096-278-7500 / FAX 096-359-7892

E-mail gamadas@camk.or.jp

広報用画像

広報用画像をご希望の方は下記内容をメールでお知らせください。広報担当からご連絡いたします。

- ① 掲載媒体
- ② 希望画像 No.
- ③ ご担当者様のお名前、ご連絡先（メールアドレス等）

【使用に際しての注意事項】

* 使用目的は、本展のご紹介に限ります。本展終了後の使用は出来ません。ご使用後は（掲載、未掲載に関わらず）画像データを削除してください。第三者への譲渡は禁止します。

* 作品キャプション・クレジットを明記してください。

* トリミング、部分使用、文字等を重ねての使用はできません。

* 掲載紙・誌、同録 DVD 等を一部寄贈してください。（WEB 媒体の場合は URL をお知らせください）

		
<p>1 赤瀬の坂道 #1 2020 年 作家蔵</p>	<p>2 三角西港 2020 年 個人蔵</p>	<p>3 三角郡浦の交差点 2020 年 作家蔵</p>
		
<p>4 餌を待つノラジョーンズ 2020 年 個人蔵</p>	<p>5 アトリエの書斎 2021 年 個人蔵</p>	<p>6 高橋の橋の下 2021 年 作家蔵</p>
		
<p>7 湯島の漁師 2022 年 Yuki. K 蔵</p>	<p>8 無題 2022 年 作家蔵</p>	<p>9 畑へ行く途中、金峰山と坪井川 2022 年 作家蔵</p>